

令和8年度 第1回介護サービス相談員派遣事業に係る意見交換会 会議録

1.開催概要

日 時 令和8年7月2日(木) 14時～15時30分
会 場 飯塚市役所本庁舎1階 多目的ホール
参加事業所数 35事業所
参加相談員 10名

2.意見交換の内容

①介護サービス相談員受け入れによる効果

- ・娘と会話するように、相談員との会話を楽しみ、笑顔になる利用者がいる。
- ・相談員の訪問を心待ちにしている利用者がいる。
- ・相談員が訪問すると施設の雰囲気明るくなり、利用者の気分転換や職員への良い刺激になっている。
- ・会話が難しい利用者にも臆せず関わってもらえるため、助かっている。
- ・外部の人と接する機会が生まれ、閉鎖的になりやすい施設と外部との接点になっている。
- ・職員とは異なる客観的な視点から、普段気づかない点や行き詰まった際の対応案を示してもらえる。
- ・相談員が利用者と職員との橋渡し役になっている。
- ・訪問後のメモが職員の意識向上やケアの改善につながっている。
- ・相談員が訪問することが、家族の安心にもつながっている。

②事業所における取組事例

- ・相談員の紹介やパンフレットを施設内に設置している。
- ・相談員の訪問予定表を掲示している。

③介護サービス相談員に聞いてほしい利用者の声

- ・職員に対する率直な意見
- ・日常生活における悩み事や心配事
- ・誕生日にしてもらいたいことなど、個人的な希望
- ・職員には直接言いにくいこと
- ・コミュニケーションが難しい利用者の思い

④介護サービス相談員と事業所の連携強化

- ・施設内の職員に対し、相談員の役割や活動をさらに周知する必要がある。
- ・相談員と職員が訪問時の気づき等をフィードバックできる機会が必要である。

- ・交換ノートなど、継続的に情報を共有できる方法を検討してはどうか。
- ・相談員の訪問について、利用者や家族への周知を進める必要がある。
- ・相談員と施設職員のコミュニケーションを増やしたい。

⑤その他の意見・要望

- ・利用者の多様なニーズに対応するため、男性の介護サービス相談員も居てほしい。

3.まとめ

意見交換会を通じて、介護サービス相談員の訪問が、利用者の笑顔や気分転換、職員には伝えにくい本音の把握につながっていることが確認された。また、相談員による第三者の視点や訪問後のフィードバックが、職員の気づきや意識向上につながり、介護サービスの質の向上に寄与しているとの意見があった。

今後は、介護サービス相談員と事業所職員のコミュニケーション及び情報共有をさらに充実させるとともに、介護サービス相談員の役割や訪問予定について、事業所職員、利用者及び家族への周知を進める必要がある。

4.市としての今後の検討事項

- ・介護サービス相談員の活動内容について、事業所職員、利用者及び家族への周知。
- ・介護サービス相談員と事業所職員の相互理解を深めるため、意見交換会や情報共有の機会の充実。
- ・利用者の多様なニーズに対応できるよう、男性を含む相談員の確保。